

2024年度 第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和6年8月2日付けで、「2024年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2024年8月～12月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2024年8月～12月）〉

- マイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：前年を下回る。
 - (2) 漁期・漁場：まき網は、8月～10月は道東海域が主漁場となり、三陸～房総海域は小規模な漁場形成となる。11月～12月には三陸～常磐海域においても散発的に漁獲される。定置網は、各地で期を通じて散発的に漁獲される。
 - (3) 魚 体：10 cm～15 cm 前後の0歳魚、13 cm～17 cm 前後の1歳魚、15 cm～18 cm 前後の2歳魚、16 cm～20 cm 前後の3歳魚、17 cm～21 cm の4歳魚が漁獲される。房総海域で漁期前半に漁獲される0歳魚は16 cm～17 cm 主体。
- カタクチイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：房総海域では漁獲主体となる0歳魚は予測が困難、1歳以上は前年を上回る。三陸南部海域～仙台湾では前年を上回る。三陸北部海域ではまとまった漁獲はない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。
 - (2) 漁期・漁場：房総海域の2そうまき網、三陸南部海域～仙台湾の定置網では期を通じて漁獲される。道東海域および常磐～房総海域の1そうまき網では主な漁獲対象にはならない。
 - (3) 魚 体：6 cm～8 cm 主体の0歳魚、10 cm～12 cm 主体の1歳以上が漁獲される。
- マサバ及びゴマサバ**（対象海域：犬吠～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網等）
 - (1) 来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年を下回る。6歳魚は前年並。マサバ全体としてはまき網では低調であった前年並～下回り、定置網では前年を上回り、底曳網では前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並～下回る。
 - (2) 漁期・漁場：定置網、底曳網では期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東～三陸北部海域、11月～12月は三陸北部～常磐海域に主に形成される。
 - (3) 魚 体：マサバは23 cm ～36 cm (2歳以上) 主体に、20 cm ～28 cm (1歳魚) も漁獲される。

※ 詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ (https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2024/fri_20240802_ukiuo-pac-1st.html) に掲載されております。